

3. まとめ

国道 24 号の現況および今後新たに発現が想定される課題について、八木駅北側地区再整備によりどのような改善が期待されるか、以下に整理する。
また、八木駅北側地区再整備以外の事業等での対応が必要となる内容についてもまとめる。

	現況の課題 (○) および 新たに想定される課題 (●) に対する対応方針	八木駅北側地区再整備による改善	左記の取組では困難な課題への対応、 取組実現までの短期的な対応等
道路構造	○近鉄八木駅北広場交差点 における通過交通の円滑 化	<input type="checkbox"/> 近鉄八木駅北広場交差点の四叉路化による信号現示の単純化、主方向青時間の増加 ・現在の複雑な信号現示の単純化による、国道 24 号主方向の青時間の延長。 <input type="checkbox"/> 右折レーン新設による無用な交通流入の排除 ・国道 24 号上り流入部の右折レーン新設により、北八木町 12 号線への直接流入が可となり、市営八木駅前北駐車場の周辺を迂回していた無用な交通流入が排除。また市道奈良樞原線へのアクセスが向上し、広域的な利便性も向上。 <input type="checkbox"/> 南北道路新設による交通集中の緩和 ・南北道路の新設およびループ道路網形成により、大和八木駅北口周辺を発着する交通の経路が分散され、近鉄八木駅北広場交差点の交通集中が緩和。 <input type="checkbox"/> 交通安全性の確保 ・市営八木駅前北駐車場の撤去等によりドライバーの視認性が改善され、交通安全性の向上が期待。	
	○鉄道アンダーパス部にお ける安全性の向上	<input type="checkbox"/> 鉄道アンダーパス部 (近鉄大阪線) の安全性向上 ・鉄道アンダーパス部の抜本的な改修は困難だが、当交差点の改良にあわせて視認性等が改善されれば、交通安全性の向上が期待。	<input type="checkbox"/> 鉄道アンダーパス部 (JR 桜井線) における歩道幅員の確保
	○歩道狭小区間における歩 行者・自転車の安全確保		<input type="checkbox"/> 国道 24 号全体における歩道の拡幅により、歩行者・自転車の安全性向上
交通状況	○通勤通学時間帯における 走行速度の向上	<input type="checkbox"/> 近鉄八木駅北広場交差点と隣接交差点との信号サイクルの連動による交通の円滑化 ・当交差点の四叉路化により、信号現示の単純化および、隣接する交差点の信号サイクルとの連動が図られ、主方向交通の流れが円滑になり、通勤通学時間帯の走行速度が改善 (隣接・連続する交差点の信号現示の見直しとあわせて実施することが必要)。 <input type="checkbox"/> 大和八木駅北口の広場の拡充による交通の円滑化 ・大和八木駅北口周辺に流入する車両の出入りが円滑化され、通勤通学時間帯における送迎車両による駅周辺の混雑が緩和。	
	○通勤通学時間帯における 歩行者の無謀横断への対 策		<input type="checkbox"/> 横断防止柵の設置による無謀横断の抑制 <input type="checkbox"/> 歩行者マナー向上に向けた啓発
	●市営八木駅前北駐車場撤 去に伴う駐車交通需要の 分散	<input type="checkbox"/> 代替駐車場の設置 ・駐車交通需要の状況に応じて、代替駐車場の検討を実施。	
沿道土地 利用	○近鉄百貨店駐車場への円 滑な誘導および利用交通 の分散		<input type="checkbox"/> タイムズ近鉄樞原駐車場を有効活用した来店客の駐車場需要の分散
	●八木駅南市有地活用事業 に伴う滞留交通の増加へ の対策	<input type="checkbox"/> 近鉄八木駅北広場交差点と隣接交差点との相互の信号サイクルを連動させることによる滞留交通増加の抑制 ・現状、柳町交差点での滞留車両が 15~16 台あり、八木駅南市有地活用事業の影響でさらに滞留車両が増加することが見込まれるため、新たな対策の必要がある。 ・今後の精査等により、当事業による発生集中交通が国道 24 号に影響を及ぼすと予測された場合は、近鉄八木駅北広場交差点の改良にあわせて柳町交差点を含む隣接する交差点の信号サイクルを連動させ、国道 24 号南方向の青時間を増やすなどして、滞留交通の増加を抑制して交通流動を円滑化。	<input type="checkbox"/> 柳町交差点西方向の八木町・内膳町 1 号線の流出入交通への対応 ・左記の通り、滞留車両の増加が見込まれるため、八木町・内膳町 1 号線上の交差点において、信号サイクルの変更等の対応策が必要。